

新人教育プログラム記録

氏名

SMUH-MNL-0078_新人教育プログラムマニュアル

目次

1. 新人教育プログラム作成の背景
2. 目的
3. 対象者
4. 研修期間
5. 指導者
6. 評価と目的
7. 代替技師について
8. 新人技師の資格取得、勉強会参加などについて
9. 注意事項
10. 各係における習得すべき内容および習得が進められる内容

以上をよく理解して新人教育を行ってください。

研修期間：年月日～年月日

血液検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

 研修期間 年 月 日～ 年 月 日
 研修期間 年 月 日～ 年 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
	内容	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	【共通】 機器異常時の対応ができる（検査結果報告手順書（QMS-0031 10項を理解してる） （不適合事例あり：機器異常判明後に異常値を確定）								
2	インシデント報告ができる								
3	検査状況モニターを確認できる								
4	グレーボックスの使用・廃棄方法がわかる								
5	掃除ができる								
6	検査結果へコメントを入力することができる								
7	検体収納・検体検索ができる								
8	【接遇】 電話対応ができる（血液検査関連：血液部門技師への接遇も含む）								
9	その他の電話での問い合わせに対して、適切な対応ができる（他部門技師への接遇を含む）								
10	問い合わせで解らないことは、安易に自己判断せず他の技師などに確認することができる								
11	【CBC】 CBC機器のコントロール測定ができる								
12	CBC機器の精度管理結果を確認できる								
13	CBC機器の精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
14	CBC機器の試薬交換ができる								
15	測定原理を理解している（調べることができる）								
16	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）								
17	CBC検体の凝固の有無が目視できる								
18	P-coagに対応できる(フィブリンの確認・凝固の有無)								
19	CBC検体の受入不可検体を判断できる								
20	CBC検体の追加可能期間を調べ、対応することができる								
21	CBC機器に検体をかけることができる								
22	微量CBC採血管の測定ができる								
23	へパリン採血管、体腔液の測定ができる								
24	CBCの希釈再検ができる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)									
	内容	1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
25	CBCの再検ができ、結果を報告することができる								
26	CBCの結果確定ができる (RDW、MPV、PDW、分画空欄などの対応含む)								
27	体腔液検体の結果確定ができる (***)入力 (不適合事例あり：体腔液検体を感度以下で誤報告。吸引センサーを切って測定するので、気泡に注意)								
28	結果確定時にキーボードの「Y」は絶対使用しない。 (不適合事例あり：WBCが「Y」で誤報告)								
29	寒冷凝集素症検体の対応ができる								
30	CBC検査のピットフォールを理解している								
31	パニック値を理解し、対応できる (不適合事例あり：パニック値未報告)								
32	測定値から機器の異常に気づくことができる (不適合事例あり：機器異常判明後に異常値を確定)								
33	データの異常について解析する方法がわかる (偽性血小板減少症を含む) (調べることができる)								
34	自動染色機器に染色用のスライドを追加できる								
35	末梢血のストリッヒが作製できる								
36	染色機器で染色ができる								
37	特殊染色の受付と報告書を出力できる								
38	自動染色機器の試薬交換ができる								
39	CBC検査関連の記録業務ができる								
40	【凝固線溶】 凝固線溶機器のコントロールの溶解ができる								
41	凝固線溶機器のコントロール測定ができる								
42	凝固線溶機器の精度管理結果を確認できる								
43	凝固線溶機器の精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
44	凝固線溶機器の試薬交換ができる (イミダゾール必須)								
45	凝固線溶機器にキュベットを追加できる								
46	凝固線溶機器のキュベットを廃棄できる								
47	測定原理を理解している (調べることができる)								
48	測定項目の臨床的意義を理解している (調べることができる)								
49	凝固線溶検体の採血量を確認できる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)									
		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
	内容	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
50	凝固線溶採血管を遠心する前に凝固および採血量の確認ができる								
51	凝固線溶検体の追加可能期間を調べ、対応することができる								
52	凝固線溶機器に検体をかけることができる（検体架設前に、遠心の有無・検体性状（採血量、溶血、乳び）を確認できる）。 （不適合事例あり：全血検体で測定）								
53	凝固線溶検査の報告単位を理解している （不適合事例あり：機器画面でFbgの秒数と濃度を間違えLISに手入力し誤報告）								
54	凝固波形の見方を理解している （不適合事例あり：機器画面でFbgの秒数と濃度を間違えLISに手入力し誤報告）								
55	凝固線溶検査の結果確定ができる（機器画面で凝固波形や検査結果の確認ができ、適切に対処できる）								
56	測定値がLISに送られてこない場合の対応ができる （APTT>150、Fbg<35など）								
57	凝固線溶検査のピットフォールを理解している								
58	多血症検体に気がつくことができる								
59	検査結果から検体凝固を疑うことができる								
60	パニック値を理解し、対応できる （不適合事例あり：パニック値未報告）								
61	凝固線溶検査の再検ができる								
62	凝固線溶微量採血管の測定ができる								
63	凝固線溶微量採血管の希釈測定ができる								
64	測定値から機器の異常に気がつくことができる （不適合事例あり：機器異常判明後に異常値を確定）								
65	データの異常について解析する方法がわかる（調べることができる）								
66	凝固線溶検査関連の記録業務ができる								
67	【赤沈】 赤沈検体の採血量を確認できる								
68	赤沈検体の凝固の有無が目視できる								
69	赤沈検体の受入不可検体を判断できる								
70	赤沈検体の追加可能期間を調べ、対応することができる								
71	赤沈機器に検体をかけることができる								

72	赤沈検査の結果確定ができる								
(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)									
		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
	内容	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
73	赤沈検査関連の記録業務ができる								
74	【FCM】 測定原理を理解している（調べることができる）								
75	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）								
76	【血液像・骨髄像】 カウント・報告方法の概要を理解している								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
77項目×2点＝154点 到達目標80% 指導者総合計124点以上									
総合評価									
指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。									
記載者:指導者									
確認印	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生				
	印	印	印	印	印				

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）		
1	受け側の係体制は整っていたか	はい	いいえ	該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい	いいえ	該当なし
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい	いいえ	該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか	はい	いいえ	該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか	はい	いいえ	該当なし
6	初日に指導者の紹介はあったか	はい	いいえ	該当なし
7	説明は丁寧でわかりやすかったか	はい	いいえ	該当なし
8	横柄な態度をとられなかったか	はい	いいえ	該当なし
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい			

	改善・要望等がありましたら書いて下さい				
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

血液検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

 研修期間 年 月 日～ 年 月 日
 研修期間 年 月 日～ 年 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	【共通】 機器異常時の対応ができる（検査結果報告手順書（QMS-0031 10項を理解してる） （不適合事例あり：機器異常判明後に異常値を確定）								
2	インシデント報告ができる								
3	検査状況モニターを確認できる								
4	グレーボックスの使用・廃棄方法がわかる								
5	検査結果へコメントを入力することができる								
6	検体収納・検体検索ができる								
7	日夜勤(血液関連)の記録業務ができる								
8	【CBC】 CBC機器のコントロール測定ができる								
9	CBC機器の精度管理結果を確認できる								
10	CBC機器の精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
11	CBC機器の試薬交換ができる								
12	測定原理を理解している（調べることができる）								
13	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）								
14	CBC検体の凝固の有無が目視できる								
15	P-coagに対応できる(フィブリンの確認・凝固の有無)								
16	CBC検体の受入不可検体を判断できる								
17	CBC検体の追加可能期間を調べ、対応することができる								
18	CBC機器に検体をかけることができる								
19	微量CBC採血管の測定ができる								
20	ヘパリン採血管、体腔液の測定ができる								
21	CBCの希釈再検ができる								
22	CBCの再検ができ、結果を報告することができる								
23	CBCの結果確定ができる（RDW、MPV、PDW、分画空欄などの対応含む）								
24	体腔液検体の結果確定ができる（***入力） （不適合事例あり：体腔液検体を感度以下で誤報告。吸引センサーを切って測定するので、気泡に注意）								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
25	結果確定時にキーボードの「Y」は絶対使用しない。 (不適合事例あり：WBCが「Y」で誤報告)								
26	寒冷凝集素症検体の対応ができる								
27	CBC検査のピットフォールを理解している								

28	パニック値を理解し、対応できる (不適合事例あり：パニック値未報告)								
29	測定値から機器の異常に気づくことができる (不適合事例あり：機器異常判明後に異常値を確定)								
30	データの異常について解析する方法がわかる (偽性血小板減少症を含む) (調べることができる)								
31	【凝固線溶】 凝固線溶機器のコントロールの溶解ができる								
32	凝固線溶機器のコントロール測定ができる								
33	凝固線溶機器の精度管理結果を確認できる								
34	凝固線溶機器の精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
35	凝固線溶機器の試薬交換ができる (イミダゾール必須)								
36	凝固線溶機器にキュベットを追加できる								
37	凝固線溶機器のキュベットを廃棄できる								
38	測定原理を理解している (調べることができる)								
39	測定項目の臨床的意義を理解している (調べることができる)								
40	凝固線溶検体の採血量を確認できる								
41	凝固線溶採血管を遠心する前に凝固および採血量の確認ができる								
42	凝固線溶検体の受入不可検体を判断できる								
43	凝固線溶検体の追加可能期間を調べ、対応することができる								
44	凝固線溶機器に検体をかけることができる (検体架設前に、遠心の有無・検体性状 (採血量、溶血、乳び)を確認できる)。 (不適合事例あり：全血検体で測定)								
45	凝固線溶検査の報告単位を理解している (不適合事例あり:機器画面でFbgの秒数と濃度を間違えLISに手入力し誤報告)								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
46	凝固波形の見方を理解している (不適合事例あり:機器画面でFbgの秒数と濃度を間違えLISに手入力し誤報告)								
47	凝固線溶検査の結果確定ができる(機器画面で凝固波形や検査結果の確認ができ、適切に対処できる)								
48	測定値がLISに送られてこない場合の対応ができる (APTT>150、Fbg<35など)								
49	凝固線溶検査のピットフォールを理解している								
50	多血症検体に気がつくことができる								
51	検査結果から検体凝固を疑うことができる								
52	パニック値を理解し、対応できる (不適合事例あり:パニック値未報告)								
53	凝固線溶検査の再検ができる								
54	凝固線溶微量採血管の測定ができる								
55	凝固線溶微量採血管の希釈測定ができる								
56	測定値から機器の異常に気づくことができる (不適合事例あり:機器異常判明後に異常値を確定)								
57	データの異常について解析する方法がわかる(調べることができる)								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
	57項目×2点=114点 到達目標80% 指導者総合計92点以上								
	総合評価 指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。 記載者:指導者								
確認印	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生				
	印	印	印	印	印				

尿検査係の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

 研修期間 年 月 日～ 年 月 日
 研修期間 年 月 日～ 年 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目（最終）	
		自己	指導者	自己	指導者
1	【共通】 検体容器の種類と測定装置・測定項目の組合せが理解できる				
2	ルーチン検体と至急・緊急検体が区別できる				
3	検体を受付できる				
4	検体の採番ができる				
5	測定原理を理解している（調べることができる）				
6	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）				
7	データの異常について解析する方法がわかる（調べるができる）				
8	受付から結果送信までの過程が理解できる				
9	オンラインモニタ画面内容を理解できる				
10	検査状況モニターを確認できる				
11	検査結果を照会できる				
12	ラベルを再発行できる				
13	インシデント報告ができる				
14	グレーボックスの使用・廃棄方法がわかる				
15	掃除ができる				
16	採尿室の見回りができる				
17	【接遇】 電話対応ができる（尿検査関連：尿部門技師への接遇も含む）				
18	その他の電話での問い合わせに対して、適切な対応ができる（他部門技師への接遇を含む）				
19	問い合わせで解らないことは、安易に自己判断せず他の技師などに確認することができる				
20	【尿検査】 尿コップの受付ができる				
21	尿コップの分注ラベルをスピッツに貼ることができる				
22	尿コップからスピッツへ適量の尿を入れることができる				
23	尿定性・尿沈渣機器にスピッツを架設し、測定することができる				
24	基準値を理解している				
25	異常データに気がつくことができ、ビットフォールを理解している				
26	再検査ができ、結果を報告することができる				
27	尿量が少ないときの機器対応ができる				
28	尿定性・尿沈渣機器の立ち上げ・シャットダウンができる				

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目（最終）	
		自己	指導者	自己	指導者
29	尿定性・尿沈渣機器の試薬交換ができる				
30	尿蛋白偽陽性を疑う尿定性検査結果の確定ができる				
31	高度血尿、粘性の高い検体、蛍光色の強い検体の尿定性・尿沈渣検査の対応ができる				
32	尿定性機器のメンテナンスができる				
33	尿定性・尿沈渣機器のコントロール測定ができる				
34	尿定性・尿沈渣機器の精度管理結果を確認できる				
35	尿定性・尿沈渣機器の精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる				
36	尿定性・尿沈渣、尿生化学、尿免疫血清、尿浸透圧の分注ラベルが判別できる				
37	日夜勤時の検体保存の対応ができる				
38	尿検査の受入不可検体を判断できる				
39	残検体での追加可能期間を調べ、追加検査依頼の対応ができる				
40	検体預かり画面で、預かり検体の有無や検体受付の確認ができる				
41	検体の未到着チェックができる				
42	日夜勤（尿検査関連）の記録業務ができる				
43	尿沈渣鏡検法のカウント・報告方法の概要を理解している				
44	複数枚ラベル検体の見逃しを防ぐチェック体制を理解し、実施できる				
45	【髄液】 髄液検査の受付ができる				
46	髄液が少ない場合の対応ができる				
47	測定モードをBFモードに切り替えることができる				
48	バックグラウンドチェックを逸脱した場合の対応ができる				
49	髄液を機器に架設することができる				
50	再検査ができる				
51	要精査が表示された場合の対応ができる				
52	細胞数 $>10000/\mu\text{L}$ を超えた場合の対応ができる				
53	要精査・細胞数 $>10000/\mu\text{L}$ の両方が表示された場合の対応ができる				
54	髄液のTP、糖の測定ができる				
55	髄液のパニック値（細胞数、糖）を理解し、報告できる				
	合計	0	0	0	0

55項目×2点＝110点 到達目標80% 指導者総合計88点以上					
総合評価					
指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらおう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。					
記載者:指導者					
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）
1	受け側の係体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい いいえ 該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
6	初日に指導者の紹介があったか	はい いいえ 該当なし
7	説明は丁寧でわかりやすかったか	はい いいえ 該当なし
8	横柄な態度をとられなかったか	はい いいえ 該当なし
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい	
	改善・要望等がありましたら書いて下さい	

確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

尿検査係の習得内容と評価

(SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者
1	【尿検査】 尿コップの受付ができる		
2	緊急検査対応項目（ラベル）を理解し、その対応ができる（検体預かり・ラベル提出）		
3	尿コップからスピッツへ適量の尿を入れることができる		
4	尿定性・尿沈渣機器に検体を架設し、測定できる		
5	尿定性・尿沈渣検査結果の確定ができる		
6	尿量が少ないときの機器対応ができる		
7	尿定性・尿沈渣機器の試薬交換ができる		
8	尿定性・尿沈渣機器の立ち上げ・シャットダウンができる		
9	尿蛋白偽陽性を疑う検体の尿定性検査の対応ができる		
10	高度血尿・粘性の高い検体・蛍光色の強い検体の尿定性・尿沈渣検査の対応がで		
11	尿定性・尿沈渣機器のメンテナンスができる		
12	尿定性・尿沈渣機器の精度管理（コントロール測定、結果の確認、警告限界を逸脱した場合の対応）ができる		
13	尿定性・尿沈渣検査の追加可能時間、受入不可検体の判断・対応ができる		
14	検体の未到着チェックができる		
15	複数枚ラベル検体の見逃しを防ぐチェック体制を理解し、実施できる		
16	【髄液】 髄液検査の受付ができる		
17	髄液が少ない場合の対応ができる		
18	髄液を測定することができる（BFモードへ切り替え、バックグラウンドチェックを逸脱した場合の対応、再検査）		
19	要精査が表示された場合の対応ができる		
20	細胞数＞10000/ μ Lを超えた場合の対応ができる		
21	要精査・細胞数＞10000/ μ Lの両方が表示された場合の対応ができる		
22	髄液のTP、糖の測定ができる		
23	髄液検査のパニック値（細胞数、糖）を理解し、対応できる		
	合計	0	0
23項目×2点＝46点 到達目標80% 指導者総合計37点以上			
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者
			検査室管理主体

	印	印	印	印
--	---	---	---	---

生化学・免疫検査系の習得内容と評価 (SMUH-REC-0079)

研修期間 年 月 日～ 月 日
 研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目		3週目		4週目	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
	【共通】								
1	採血管の種類と測定装置・測定項目の組合せが理解できる								
2	総合受付に提出される採血管の種類が識別できる								
3	総合受付での検体仕分けを理解できる								
4	採血管中の抗凝固剤の種類がわかる								
5	血清と血漿の違いが理解できる								
6	血漿で測定できない項目と理由がわかる								
7	ルーチン検体と至急・緊急検体が区別できる								
8	検体の受付・遠心分離ができる								
9	フィブリン析出の影響回避のため充分検体を凝固させたかを判断し、遠心分離できる								
10	検体量・検体性状を確認できる（溶血・乳糜・フィブリンの有無）								
11	溶血検体への対応ができる（取り直し・別検体で対応・コメント付きで確定など）								
12	測定原理を理解している（調べることができる）								
13	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）								
14	項目の優先順位を診療側に確認できる								
15	受付から結果送信までの過程が理解できる								
16	検体を適切に保存できる(PCR検体を含む)								
17	診療前/緊急の検体を各々の測定機器に架設することができる								
18	微量検体を微量カップに移すことができる								
19	オンラインモニタ画面内容を理解できる								
20	検査結果を照会できる								
21	PC画面の印刷ができる								
22	ラベルを再発行できる								
23	電話対応ができる								
24	問い合わせで解らないことは、安易に自己判断せず他の技師などに確認することができる								
	【MPAM】 分注機・搬送ラインシステムを理解できる								
25	分注機に検体を架設することができる								
26	分注機的主要エラーについて理解・対処できる								
27	搬送ラインの主要エラーについて理解・対処できる								
28	消耗品を補充できる								
	【LABOSPECT008a】 機器の立ち上げができる								
29	キャリブレーションができる								
30	コントロール測定ができる								
31	精度管理結果の確認ができる								
32	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
33	装置に検体を架設することができる								
34	微量検体の測定ができる								
35	再検査ができる								
36	希釈再検（自動・マニュアル）ができる								
37	マニュアル測定ができる								
38	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる								
39	検査結果の確定ができる								
40	試薬交換ができる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目		3週目		4週目	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
41	装置のシャットダウンができる								
	【GA1172】 コントロール測定ができる								
42	コントロール測定ができる								
43	精度管理結果の確認ができる								
44	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
45	装置に検体を架設することができる								
46	微量検体の測定ができる								
47	再検査ができる								
48	ラックによる広範囲測定ができる								
49	モード変更による広範囲測定ができる								
50	結果の確定ができる								
	【Cobas pro】 コントロール測定ができる								
51	コントロール測定ができる								
52	精度管理結果の確認ができる								
53	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
54	装置に検体を架設することができる								
55	微量検体の測定ができる								
56	再検査ができる								
57	希釈再検（自動・マニュアル）ができる								
58	マニュアル測定ができる								
59	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる								
60	検査結果の確定ができる								
61	試薬交換・消耗品の補充ができる								
	【Alinity i】 コントロール測定ができる								
62	コントロール測定ができる								
63	精度管理結果の確認ができる								
64	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
65	装置に検体を架設することができる								
66	微量検体の測定ができる								
67	再検査ができる								
68	希釈再検（自動・マニュアル）ができる								
69	マニュアル測定ができる								
70	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる								
71	検査結果の確定ができる								
72	試薬交換・消耗品の追加ができる								
73	毎日のメンテナンスができる								
	【ルミパルス】								
74	コントロール測定ができる								
75	精度管理結果の確認ができる								
76	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
77	装置に検体を架設することができる								
78	微量検体の測定ができる								
79	再検査ができる								
80	希釈再検（自動・マニュアル）ができる								
81	マニュアル測定ができる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)									
	内容	1週目		2週目		3週目		4週目	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
82	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる								
83	検査結果の確定ができる								
84	試薬交換・消耗品の補充ができる								
85	感染症検査のコンタミネーションについて理解できる								
86	偽陽性と偽陰性について理解できる								
	【STACIA】								
87	コントロール測定ができる								
88	精度管理結果の確認ができる								
89	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる								
90	装置に検体を架設することができる								
91	微量検体の測定ができる								
92	再検査ができる								
93	希釈再検（自動・マニュアル）ができる								
94	マニュアル測定ができる								
95	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる								
96	検査結果の確定ができる								
97	試薬交換・消耗品の補充ができる								
	【血ガス】								
98	機器が測定できる状態であることを確認できる								
99	機器に検体をかけることができる								
100	キャピラリー（小児科用）測定ができる								
101	測定実施記録に記載できる								
102	パニック値を理解し、対応できる								
103	試薬の交換ができる								
104	排液ボトルの交換ができる								
105	キャリブレーションができる								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
	105項目×2点＝210点 到達目標80% 指導者総合計168点以上								
	総合評価 指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。 記載者:指導者								
確認印	指導者	管理要員		品質管理者		検査室管理主体		高橋先生	
	印	印		印		印		印	

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）
1	受け側の係体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい いいえ 該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
6	初日に指導者の紹介はあったか	はい いいえ 該当なし

7	説明は丁寧でわかりやすかったか		はい いいえ 該当なし		
8	横柄な態度をとられなかったか		はい いいえ 該当なし		
新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい					
改善・要望等がありましたら書いて下さい					
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

生化学・免疫検査係の習得内容と評価

(SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者
	【共通】		
1	採血管の種類と測定装置・測定項目の組合せが理解できる		
2	総合受付に提出される採血管の種類が識別できる		
3	総合受付での検体仕分けを理解できる		
4	採血管中の抗凝固剤の種類がわかる		
5	血清と血漿の違いが理解できる		
6	血漿で測定できない項目と理由がわかる		
7	ルーチン検体と至急・緊急検体が区別できる		
8	検体の受付・遠心分離ができる		
9	フィブリン析出の影響回避のため充分検体を凝固させたかを判断し、遠心分離できる		
10	検体量・検体性状を確認できる（溶血・乳糜・フィブリンの有無）		
11	溶血検体への対応ができる（取り直し・別検体で対応・コメント付きで確定など）		
12	測定原理を理解している（調べることができる）		
13	測定項目の臨床的意義を理解している（調べることができる）		
14	項目の優先順位を診療側に確認できる		
15	受付から結果送信までの過程が理解できる		
16	検体を適切に保存できる(PCR検体を含む)		
17	診療前/緊急の検体を各々の測定機器に架設することができる		
18	微量検体を微量カップに移すことができる		
19	オンラインモニタ画面内容を理解できる		
20	検査結果を照会できる		
21	PC画面の印刷ができる		
22	ラベルを再発行できる		
23	電話対応ができる		
24	問い合わせで解らないことは、安易に自己判断せず他の技師などに確認することができる		
	【MPAM】		
25	分注機・搬送ラインシステムを理解できる		

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者
26	分注機に検体を架設することができる		
27	分注機的主要エラーについて理解・対処できる		
28	搬送ラインの主要エラーについて理解・対処できる		
29	消耗品を補充できる		
	【LABOSPECT008a】		
30	機器の立ち上げができる		
31	キャリブレーションができる		
32	コントロール測定ができる		
33	精度管理結果の確認ができる		
34	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる		
35	装置に検体を架設することができる		
36	微量検体の測定ができる		
37	再検査ができる		
38	希釈再検（自動・マニュアル）ができる		
39	マニュアル測定ができる		
40	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる		
41	検査結果の確定ができる		
42	試薬交換ができる		
43	装置のシャットダウンができる		
	【GA1172】		
44	コントロール測定ができる		
45	精度管理結果の確認ができる		
46	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる		
47	装置に検体を架設することができる		
48	微量検体の測定ができる		
49	再検査ができる		
50	ラックによる広範囲測定ができる		
51	モード変更による広範囲測定ができる		
52	結果の確定ができる		

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者		
	【フリースタイルプレシジョンネオ】				
53	検体の測定と結果の確定ができる				
54	測定上限を超えた場合の対応を理解している				
	【Alinity i】				
55	コントロール測定ができる				
56	精度管理結果の確認ができる				
57	精度管理結果が許容限界を超えた場合の対応ができる				
58	装置に検体を架設することができる				
59	微量検体の測定ができる				
60	再検査ができる				
61	希釈再検（自動・マニュアル）ができる				
62	マニュアル測定ができる				
63	装置画面で検査の進行状況・結果を確認できる				
64	検査結果の確定ができる				
65	試薬交換・消耗品の追加ができる				
66	毎日のメンテナンスができる				
67	感染症検査のコンタミネーションについて理解できる				
68	偽陽性と偽陰性について理解できる				
	総合計	0	0		
68項目×2点＝136点 到達目標80% 指導者総合計109点以上					
	確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体
		印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

細菌検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

研修期間 年 月 日～ 月 日
研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価
(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

		1週目		2週目（最終）	
	内容	自己	指導者	自己	指導者
1	個人用防護具(PPE)を正しく脱着することができる				
2	安全キャビネットを正しく使用できる				
3	コロナウイルス抗原検査の検体処理から測定までの操作ができる				
4	検体の受付処理ができる				
5	材料別グラム染色標本を作製できる				
6	グラム染色が行なえる				
7	グラム染色の鏡検および判定ができる				
8	グラム染色結果を入力および確定できる				
9	各種迅速検査が実施できる				
10	各種迅速検査の結果を入力および確定できる				
11	血液培養検体の受付および装置への装填ができる				
	合計	0	0	0	0
	11項目×2点＝22点 到達目標80% 指導者総合計17点以上				
	総合評価				
	指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらおう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。				
	記載者:指導者				
	確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体
		印	印	印	印

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）
1	受け側の係体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし

3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか		はい	いいえ	該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか		はい	いいえ	該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか		はい	いいえ	該当なし
6	初日に指導者の紹介はあったか		はい	いいえ	該当なし
7	説明は丁寧でわかりやすかったか		はい	いいえ	該当なし
8	横柄な態度をとられなかったか		はい	いいえ	該当なし
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい				
	改善・要望等がありましたら書いて下さい				
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

細菌検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者
1	個人用防護具(PPE)を正しく脱着することができる		
2	安全キャビネットを正しく使用できる		
3	コロナウイルス抗原検査の検体処理から測定までの操作ができる		
4	検体の受付処理ができる		
5	各種迅速検査が実施できる		
6	各種迅速検査の結果を入力および確定できる		
7	血液培養検体の受付および装置への装填ができる		
	合計	0	0

7項目×2点＝14点 到達目標80% 指導者総合計10点以上

確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体
	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

遺伝子検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目（最終）	
		自己	指導者	自己	指導者
1	【一般基礎編】 マスクとグローブの正しい着用ができる				
2	スタンダードプリコーションができる				
3	遺伝検査室の区域分けを理解し、ルールを遵守できる				
4	就業前の清掃ができる				
5	【遺伝子基礎編】 環境や器具の清掃方法を理解し、コンタミ防止操作ができる				
6	遺伝子検査係で行っている検査を説明できる				
7	検体の受付、WSの発行、検体の保存ができる				
8	試薬の保存場所と保存温度がわかる				
9	正しいピペットの操作ができる				
10	ピペットで微量操作ができる				
11	核酸（DNA、RNA）の抽出ができる				
12	核酸濃度の測定ができる				
13	Complementary DNA (cDNA) の合成ができる				
14	Polymerase chain reaction (PCR) ができる				
15	MultiNAを操作し、電気泳動ができる				
16	FISHのスライドを作製できる				
17	FISHのスライド標本を鏡検できる				
18	蛍光顕微鏡を操作できる				
19	FFPEからの核酸の抽出方法がわかる				
20	AmoyDx肺癌PCRパネル検査の解析方法がわかる				
21	検査終了後の後片付けができる				
22	【遺伝子知識編】 DNAとRNAの違いを理解している				
23	PCR反応の代表的な阻害物質を説明できる				
24	PCR法とreal-time PCR法の違いがわかる				
25	微小残存病変について理解している				
	合計	0	0	0	0
	25項目×2点＝50点 到達目標80% 指導者総合計40点以上				
	総合評価				

指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。 記載者:指導者					
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）
1	受け側の係体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい いいえ 該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
6	初日に指導者の紹介はあったか	はい いいえ 該当なし
7	説明は丁寧でわかりやすかったか	はい いいえ 該当なし
8	横柄な態度をとられなかったか	はい いいえ 該当なし
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい	
	改善・要望等がありましたら書いて下さい	

確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

輸血検査係の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

 研修期間 年 月 日～ 年 月 日
 研修期間 年 月 日～ 年 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
		自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
1	緊急検査用血液型検査機器 (ECHO Lumena)のメンテナンスができる								
2	ECHO Lumenaのコントロール測定ができる								
3	ECHO Lumenaのコントロールが外れた場合の対応、相談ができる								
4	ABO・RhD血液型検査検体の受付ができる								
5	ABO・RhD血液型をECHOで検査できる								
6	3～5%赤血球浮遊液をスポイトで作成できる								
7	ABO・RhD血液型を試験管法で検査できる								
8	ABO・RhD血液型検査結果が異常であった場合、気づくことができる								
9	赤血球製剤依頼時には、交差試験用血液の提出を依頼できる								
10	交差適合試験を行うことができる								
11	交差適合試験の結果を評価できる								
12	血液センターに輸血用血液製剤を発注できる								
13	血液センターから到着した輸血用血液製剤を受領できる								
14	血液センターから到着した輸血用血液製剤を検査システムに入庫できる								
15	血液センターから入庫した赤血球液のセグメントを保管できる								
16	輸血用血液製剤を正しく取り扱い、保管できる								
17	輸血用血液製剤の払い出しできる								
18	輸血用血液製剤の返品ができる								
19	輸血用血液製剤の受領確認ができる								
20	血液型未確定の未クロス製剤の供給ができる								
21	血液型確定後の未クロス製剤の供給ができる								
22	血液センター、病棟との対応ができる								
23	異常反応が発生したときに相談できる								
24	ルーチン用血液型検査機器 (オーソ ビジョン)の立ち上げができる								
25	オーソ ビジョンのメンテナンスができる								
26	オーソ ビジョンのコントロール測定ができる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
	内容	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
27	オーソ ビジョンのコントロールが外れた場合の対応ができる								
28	ABO・RhD血液型、直接クームス試験をオーソビジョンで検査できる								
29	不規則抗体スクリーニング検査を行える								
30	ABO・RhD血液型検査結果異常時に、精査できる								

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

		1週目		2週目		3週目		4週目 (最終)	
	内容	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者	自己	指導者
31	ABO・RhD血液型検査結果異常時に、システムに結果を入力できる								
32	試験管で直接クームス試験ができる								
33	直接クームス試験の結果を評価できる								
34	生理食塩液法と間接抗グロブリン試験の違いを説明できる								
35	初回輸血患者の血液を保管できる								
36	輸血用血液製剤の院内在庫を把握・管理できる								
37	貯血式自己血製剤の納品・払い出しができる								
38	貯血式自己血製剤の血液型確認ができる								
39	採血管の種類と測定装置の組合せが理解できる								
40	その他の電話での問い合わせに対して、適切な対応ができる								
41	高温や低温での作業において自己保護が適切にできる								
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0

41項目×2点＝82点 到達目標80% 指導者総合計67点以上

	総合評価 指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。 記載者:指導者
--	--

確認印

指導者

管理要員

品質管理者

検査室管理主体

高橋先生

印

印

印

印

印

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）			
1	受け側の係体制は整っていたか	はい	いいえ	該当なし	
2	指導者の体制は整っていたか	はい	いいえ	該当なし	
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい	いいえ	該当なし	
4	プログラム期間は妥当だったか	はい	いいえ	該当なし	
5	プログラム内容は妥当だったか	はい	いいえ	該当なし	
6	初日に指導者の紹介はあったか	はい	いいえ	該当なし	
7	説明は丁寧でわかりやすかったか	はい	いいえ	該当なし	
8	横柄な態度をとられなかったか	はい	いいえ	該当なし	
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい				
	改善・要望等がありましたら書いて下さい				
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

輸血検査係の習得内容と評価

(SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 年 月 日

研修者と指導者は 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	自己	指導者
1	緊急検査用血液型検査機器（ECHO）のメンテナンスができる		
2	ECHOのコントロール測定ができる		
3	ECHOのコントロールが外れた場合の対応、相談ができる		
4	ABO・RhD血液型検査検体の受付ができる		
5	ABO・RhD血液型をECHOで検査できる		
6	3～5%赤血球浮遊液をスポイトで作成できる		
7	ABO・RhD血液型を試験管法で検査できる		
8	ABO・RhD血液型検査結果が異常であった場合、気づくことができる		
9	赤血球製剤依頼時には、交差試験用血液の提出を依頼できる		
10	交差適合試験を行うことができる		
11	交差適合試験の結果を評価できる		
12	血液センターに輸血用血液製剤を発注できる		
13	血液センターから到着した輸血用血液製剤を受領できる		
14	血液センターから到着した輸血用血液製剤を検査システムに入庫できる		
15	血液センターから入庫した赤血球液のセグメントを保管できる		
16	輸血用血液製剤を正しく取り扱い、保管できる		
17	輸血用血液製剤の払い出しできる		
18	輸血用血液製剤の返品ができる		
19	輸血用血液製剤の受領確認ができる		
20	血液型未確定の未クロス製剤の供給ができる		
21	血液型確定後の未クロス製剤の供給ができる		
22	血液センター、病棟との対応ができる		
23	異常反応が発生したときに相談できる		
	合計	0	0
23項目×2点＝46点 到達目標80% 指導者総合計38点以上			
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者
検査室管理主体			

	印	印	印	印
--	---	---	---	---

生理検査系の習得内容と評価

(SMUH-REC-0079)

研修期間 年 月 日～ 月 日

研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価

(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	1週目		2週目（最終）	
		自己	指導者	自己	指導者
1	生理検査係内の検査がどの部屋で行われているか把握できる(各部屋の見学をする)				
2	患者が安心して検査を受けられるような接遇ができる（挨拶、声かけなど）				
3	心電計・脈波図検査機器の立ち上げや電極の準備ができる				
4	生理検査予定一覧を印刷することができる				
5	予約検査の日時を指示修正することができる				
6	オーダー指示票を使って受付・実施ができる				
7	入院患者の受付・実施ができる				
8	患者を適切なベッドへ案内することができる				
9	患者転倒・転落防止対策に準じて安全に配慮した対応ができる				
10	車いす移動や、準備が大変そうな患者の手伝いができる				
11	心電図検査の説明を患者に行える				
12	検査前に患者確認（名前・生年月日）ができる				
13	心電図（標準12誘導）の電極を正しく装着し、記録ができる				
14	依頼内容を確認して適切に検査ができる				
15	必要に応じて、筋電図フィルター・ACフィルターを入れることができる				
16	検査結果へコメントを入力することができる				
17	必要に応じて、長時間記録を追加して記録できる				
18	電極を付けるのが困難な場合、臨機応変に対応することができる（シール電極・小さい電極・ペーストの使用など）				
19	次の患者のために電極コードやベッド周りを整えることができる				
20	心電図記録を紙出しすることができる				
21	心電図の解析ができる				
22	必要に応じて、心電図異常を臨床側へ報告することができる				
23	ポータブルでの心電図検査ができる				
24	脈波図検査の説明・検査ができる				
25	脈波図検査の注意事項を確認し、必要に応じた設定変更ができる（シャントの有無など）				
26	心電計・ABI機器の片付け・翌日の準備ができる				
	合計	0	0	0	0
	24項目×2点＝48点 到達目標80% 指導者総合計38点以上				

	総合評価				
	指導者から新人の総評 80%以上でも、特に緊急検査に関わる項目の評価が「1.指導を受けながらできる」など不安なことがあれば記載してもらおう。 もちろん良い所も。 主体は80%以上でも教育延長が必要か判断する。 記載者:指導者				
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

指導者の評価

研修者が指導者を評価してください

指導者名

	内容	評価（○をつけてください）
1	受け側の係体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
2	指導者の体制は整っていたか	はい いいえ 該当なし
3	わからないことがあったとき、聞きやすい雰囲気だったか	はい いいえ 該当なし
4	プログラム期間は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
5	プログラム内容は妥当だったか	はい いいえ 該当なし
6	初日に指導者の紹介はあったか	はい いいえ 該当なし
7	説明は丁寧でわかりやすかったか	はい いいえ 該当なし
8	横柄な態度をとられなかったか	はい いいえ 該当なし
	新人教育プログラムの内容について感想を書いて下さい	
	改善・要望等がありましたら書いて下さい	
確認欄	指導者	管理要員 品質管理者 検査室管理主体 高橋先生

	印	印	印	印	印
--	---	---	---	---	---

ロック担当者：品質管理者

日夜勤時の習得内容と評価 (SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 年 月 日
研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価
(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容		記録	自己	指導者	
	【共通】					
1	日報作成					
2	輸血オーダーの確認と引き継ぎ		ハードコピーにサイン			
3	遠心機点検		遠心機保守管理作業日誌			
4	見回り		日報			
5	尿コップラベルの確認					
6	日報、宿直時に実施した記録業務の申請					
7	凝固、CBC検体をSP-10から取り出し収納					
8	オンラインモニタの確認		終業時			
9	未検査リスト（日夜勤）の確認		終業時			
	総合計			#REF!	#REF!	
68項目×2点＝136点 到達目標80% 指導者総合計109点以上						
	確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
		印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

日夜勤時の習得内容と評価

(SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 月 日
 研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価
 (2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容	記録	自己	指導者	
	【共通】				
1	日報作成				
2	遠心機点検	遠心機保守管理作業日誌			
3	室内温度点検	室内温度点検記録			
4	輸血保冷库の温度確認	GP20で確認			
5	輸血オーダーの確認と引き継ぎ	ハードコピーにサイン			
6	血液センターから血小板製剤の確認の電話	作業予定シートの確認			
7	LS1号機のコントロール測定	機器保守管理作業日誌			
8	GA1172のコントロール測定	機器保守管理作業日誌			
9	LS2号機のメンテナンス、シャットダウン	機器保守管理作業日誌 毒劇物管理作業日誌 毒劇物保管庫施錠管理簿			
10	LS1号機のコントロール測定	機器保守管理作業日誌			
11	Alinity I メンテナンス、コントロール測定	機器保守管理作業日誌			
12	ECHOのメンテナンス、コントロール測定	機器保守管理作業日誌			
13	US-3500のメンテナンス、コントロール測定	機器保守管理作業日誌			
14	US-5000のメンテナンス、コントロール測定	機器保守管理作業日誌			
15	US-2200のコントロール測定（必要時のみ）	機器保守管理作業日誌			
16	各種コントロール逸脱時（報告書の申請はしない）	精度管理結果の修正と 処置報告書			
17	輸血依頼の確認（翌日使用の血小板確認）				
18	RAAラックを取り出し冷蔵保管				
19	オンラインモニタの確認	終業時			
20	未検査リスト（日夜勤）の確認	終業時			
	総合計		#REF!	#REF!	
68項目×2点＝136点 到達目標80% 指導者総合計109点以上					
確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
	印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者

日夜勤時の習得内容と評価 (SMUH-REC-0080)

研修期間 年 月 日～ 月 日
研修者と指導者は1週間ごとに 2点、1点、0点 評価
(2点:単独できる 1点:指導を受けながらできる 0点:要努力)

	内容		記録	自己	指導者	
	【共通】					
1	日報作成					
2	遠心機点検		遠心機保守管理作業日誌			
3	輸血オーダーの確認と引き継ぎ		ハードコピーにサイン			
4	LS2号機のメンテナンス、シャットダウン		機器保守管理作業日誌 毒劇物管理作業日誌 毒劇物保管庫施設管理簿			
5	L2400のメンテナンス、コントロール測定		機器保守管理作業日誌			
6	凝固のコントロール測定		機器保守管理作業日誌			
7	CBCのコントロール測定		機器保守管理作業日誌			
8	各種コントロール逸脱時（報告書の申請は翌日が平日のときのみ）		精度管理結果の修正と 処置報告書			
9	見回り		日報			
10	凝固、CBC検体をSP-10から取り出し収納					
11	尿コップラベルの確認					
12	RAAラックを取り出し冷蔵保管		終業時			
13	日報、宿直時に実施した記録業務の申請（申請は翌日が平日のときのみ）		終業時			
14	オンラインモニタの確認		終業時			
15	未検査リスト（日夜勤）の確認		終業時			
	総合計			#REF!	#REF!	
68項目×2点＝136点 到達目標80% 指導者総合計109点以上						
	確認欄	指導者	管理要員	品質管理者	検査室管理主体	高橋先生
		印	印	印	印	印

ロック担当者：品質管理者